

「レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における

医療の質に関する研究」参画に関する情報公開

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院及び外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集・提供して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上することをめざしております。

① 研究の目的

全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いと考えられています。諸外国では定期的にデータを取得し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。

日本循環器学会では全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベース構築として「循環器疾患診療実態調査（JROAD）」を行っています。今回、JROAD 調査施設の中からDPC（診断群分類に基づく包括医療費支払い制度）参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれたDPC データを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

② 研究の対象

2021年4月1日～2022年3月31日の間に循環器疾患のために新山手病院に入院された患者さんを対象としています。

③ データの提供方法

暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により、一般社団法人日本循環器学会（共同研究を実施する国立研究開発法人国立循環器病研究センター OIC 循環器病統合情報センター）へ提供します。データは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。

④ 提供する試料・情報の項目

厚生労働省により規定され作成されたDPCデータ（性別・入院時年齢、入院時診断名・入院

時併存症病名・入院後合併症病名とそれらの ICD-10 コード, 手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料, 在院日数, 退院時転帰, 費用など) です。

⑤ 使用する者の範囲

本研究で得られた試料・情報については、日本循環器学会員が広く循環器診療の質の向上につながる学術目的の研究施行のために使用することができます。その中には学会員との共同研究としての民間による学術目的の研究も含まれます。学術目的の研究を実施する場合には、研究者は日本循環器学会の IT/DB 部会に申請し承認を得る必要があります、そのうえで試料・情報は研究者(研究実施機関)へ提供されます。

⑥ 利益相反について

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益(効果や安全性など)が損なわれることもありません。

研究責任者

公益財団法人結核予防会新山手病院

循環器病センター長 中村健太郎

〒189-0021 東京都東村山市諏訪町 3-6-1

042-391-1425(代表)